

日本海溝海底地震津波観測網(S-net)の水圧計温度データの公開について

令和3年2月15日

地震津波火山ネットワークセンター

国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用する日本海溝海底地震津波観測網(S-net)のデータについて、水圧計に搭載されている温度センサのデータを新たに海底地震津波観測網(<https://www.seafloor.bosai.go.jp/>)の[データダウンロードのページ](#)より公開します。

S-netでは米国のParo Scientific社製の水圧計が使用されています。この水圧計の内部には、圧力を測定するために水晶振動子が搭載されています。水晶振動子は温度の影響を受けるので、温度の補正を行うことで圧力の測定精度を高めることができます。温度補正を目的とした温度センサが水圧計に内蔵されており、本サイトで公開するのはこの補正用の温度データです。

なお、公開している水圧計の水圧データは温度補正済のもので、この温度データによる補正の必要はありません。温度データは参考情報として公開するものです。